広報 さかえ

平成31年
1月号
第422号

発行／栄村役場

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

今年が皆様にとって幸多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

2019年最初の表紙は千曲川から月岡集落を望む風景です。

写真提供：若狭久男 氏

主な内容

■年頭のごあいさつ……P２－４
■宮川教育長退任についてほか……P５
■栄村福祉医療給付金事業についてほか……P７
■武蔵村山駅伝についてほか……P９
■さかえ倶楽部スキー場情報ほか……P10
■保健だより……P13
農業委員会だより「のぞみ」（第83号）……P16－17
公民館報（第326号）……P18－25

新春のごあいさつ

栄村長　森川浩市

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、心あらたに、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げますとともに、昨年中は、村政全般にわたりまして、温かいご理解とご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国各地において、地震災害、豪雨災害等、甚大な被害と多くの犠牲者を出し、いまだ多くの住民が避難生活を余儀なくされています。

本村でも、５月に震度５強の地震に襲われ、住宅、農地、道路・水路等への被害が発生し、住民生活に重大な影響を及ぼしました。

本年こそは、災害のない穏やかな希望に満ちた年でありますことを心から願うものであります。

▲地震により被害を受けた水田

行政におきましては、昨年から始まった「中国蘇州市との交流」及び「中華人民共和国駐新潟総領事館」も回数を重ねる中で、多くの方々に来村いただき、栄村を知っていただく機会となり、新たな視点で観光をとらえる入り口として、これからも取り組んで参ります。

▲11月に蘇州市の方々を招き紅葉ツアー実施
村長室にて記念撮影

11月には、天代坪野線の「土合橋」が開通しました。小雨降る中、開通式直前に青空が広がり、村の宝である子どもたちによって、くす玉が割られ、和やかで微笑ましい式典となりました。広報さかえ12月号の表紙に、ご来賓の方々共々、笑顔満載の和やかな様子がうかがえます。

箕作平滝大橋の延長線上にある野沢温泉村に延びる橋「明石大橋」の建設工事も継続中であり、完成が待たれます。

▶終始笑顔の中で渡り初めが行われました。

12月には、宮川幹雄教育長退任により、新教育長に石澤清人氏が就任されました。新教育長のもと、保育園等を教育委員会へ移管することにより、小中学校義務教育までの一貫教育を目指すこと、教育環境整備を進めると共に、中学校平和学習派遣事業としての広島平和式典参加の継続、村史編纂事業等担っていただきます。

▲広島平和式典へ参加。平和への願いを込めました。

さて、迎えた平成31年は、平成29年３月に策定した、本村の将来に向けての方針「栄村総合振興計画」の基本構想により、村民の目

線に立った村民主役の「知恵と和で築く　日本一安心できる村」を目指していくものであり、栄村将来人口ビジョンの目標と共に、これから始まる新年度予算編成の大元になるものであります。

国の地方創生の流れの中で、平成28年3月、本村の将来像を見据えた「栄村総合戦略」計画が策定されており、本村の実情に即した具体的な本村の未来を創生するための事業を推進しております。

しかし、その成果を達成するためには、村だけの力では対応できません。引き続き、国及び県の財政面や制度面の積極的な支援が必要となります。

国の経済情勢は、長期にわたる景気の低迷から緩やかに回復しつつあると報道されていますが、本村の農林業、商工業は過疎化や高齢化の進行等により、追い風とまではなっておりません。

しかし、手をこまねいているわけにはいきません。地域資源を活用した新たな仕事による地域雇用創出の施策を推進し、人口定着に向けた地域経済や雇用対策を図るため、次の3本の目標「(1)村民と行政が『やる気と根気と元気』をもち、共に考え進む活力ある村づくり (2)安心して生活するために必要な生活基盤の整備 (3)豊かな自然と大いなる歴史的遺産、そして先人たちの育んできた英知を資源として村の魅力の発信」を掲げ、事業展開を考えていきます。

引き続き、村民皆様と共に、日本一豪雪の村だからこそできる支えあいのむらづくりを進めてまいりたいと思っております。

全ての村民が笑顔で暮らせるよう、村民皆様と協働し、地域資源を活用しながら、「日本一安心できる村」づくりを目指す「栄村」をこれからも、ご理解とご支援をよろしくお願いするものであります。

村民の皆様には、今年も穏やかで幸多き年になりますようご祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

新春のごあいさつ

栄村議会議長　福原和人

村民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

去る12月15日には、心配されてたスキー場に恵みの雪が降り積もり、さかえ倶楽部スキー場のオープンセレモニーが、例年より大勢のお客様がおいでくださる中で盛大に行われました。

あらためて、栄村に冬の到来と冬シーズンの始まりを実感できた感慨深いひと時でした。

駐車場が県内外の車で一杯になっている状況を目にしたときに、私ばかりでなく、スキー場の関係者の皆様も感激されていたことと思います。今シーズンもより多くのお客様が、倶楽部スキー場においでくださることを期待しています。なにより、村民の皆様がゲレンデを楽しみ、またレストランを利用していただきたいと願っております。

さて、昨年5月25日には再び震度5強の地震が発生して、農地を中心に被害が起きました。役場職員のスピーディな対応で情報収集から災害対策が図られたことは、平成23年の北部地震の教訓がしっかりと生かされて発揮できた証だと思います。全国においても、西日本豪雨、大型台風、北海道胆振東部地震など、非常に多くの自然災害に見舞われた年でした。これからも、予期せぬ自然災害が発生することを常に想定し、一層の防災対策を施す必要があります。

議会において、昨年8月20日の全員協議会で「災害発生時の議員行動マニュアル」を策定しました。災害が発生したときの行動基準を示したもので、発生時・初動体制・応急体制・復旧体制と項目ごとに分けて災害対策活動を支援するとともに迅速かつ適切に活動できるようにしたマニュアルです。

村民の皆様には、「震災応急マニュアル」や「洪水ハザードマップ」が配布されていますが、一人一人が内容をしっかり習得するとともに、集落ぐるみの取り組みが重要ですので、常日頃から防災対

策について意識の高揚に努めていただきたいと思います。

また、9月4日には「議会議員倫理規定」を制定しました。

この規定は、議員が品位と名誉を損なう恐れのある行為およびその地位による影響力を不正に使用して自己に利益を誘導することのないようにし、村民全体の代表者・奉仕者として村民の信頼に応え、公正で開かれた民主的な村政の発展に寄与することを目的としています。したがって議員は、自らの行動を厳しく律するとともに、政治倫理に反する事実があるとの疑惑を持たれたときは、真摯かつ誠実に事実を明らかにし、その責任を明確にすることが求められます。

議員には、与えられた権限や使命があると同時に守るべき義務もあります。本会議や全員協議会は原則として公開ですが、会議の内容によっては公表できない場合もあり、これらは守秘義務として扱われなくてはいけないし、公僕であるからこそ制限される言論や行動も当然あります。

栄村議会の中に、自らの活動報告を文書にして村民に配布している議員が若干名おります。言論には言語と文書が入りますが、文書は記録として残るものですから、その内容はきわめて正確でなくてはなりませんし、その中での報告には筆者の個人的な見解も入っていますから、読者の受け止めかたは様々であっても、不安や心配をあおるような内容は避けるべきです。

そこで、ある議員の11月22日発行の活動報告の内容で、議長としての発言について書かれていた内容が正確でないため、この度の新年のあいさつにその事実内容を書くことを本人に伝えたうえで報告したいと思います。

現在振興公社が管理運営している村の4施設の新年度からの体制について、「**新会社設立に向けて議会がリーダーシップを発揮しなければならない**」という内容を議長が「議会の統一的見解」であると明言しているという文章です。

これは、6月20日の議会全員協議会でのことですが、その前日の議員による全協で議論された内容には、「議会がリーダーシップを発揮しなければならない」という発言や確認はありませんでした。

しかしながら、読み上げられた文章には、昨日の全員協議会で議論を重ねたことをまとめたものとして、「**議会がリーダーシップを発揮しなければならない**」の一言が追加されていたのです。このあと私が、「議員各位の意見をとりまとめた中での統一的な見解と言うことで読み上げていただいた」と発言したのは事実ですが、読み上げられた文書は、事前に議員全員に確認することなく報告したものにすぎないので統一的な見解ではなく、あくまでも一部の議員の考えであるということです。

のちに、この追加の一言について、栄村観光レクリエーション施設等管理運営に関する調査研究特別委員会の冒頭で、統一的な見解ではないということを確認したところ異論は出ませんでした。

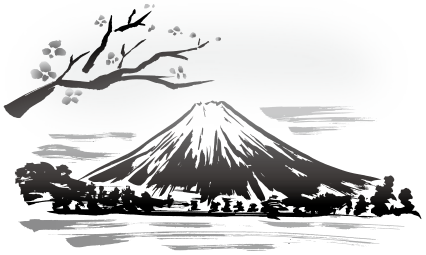
私が、読み上げられた文章を一言一句聞き漏らさずにいれば、このような記事は書かれなかったと思いますので反省をしておりますし、村民の皆様には誤解を与えてしまったことを深くお詫び申し上げます。ただ、この一言が政治的駆け引きに利用されたことは非常に残念です。

議員は個々の活動で住民の意見や声を聴きながら代弁者として職責に全うしていますが、村民の皆様が、議会にもっともっと関心をもっていただける、参画しやすい環境づくりをしなければならないと思います。それには、個々の活動に加えて議会全体での取り組みを行い、誤解のないより開かれた議会にすることが必要だと思いますし、議会の活性化につながると思います。

まずは、集落懇談会などの実現に取り組みたいと思います。

議会に対するご意見などございましたら、気軽に議会事務局を通じてお寄せください。

結びに、本年が明るく希望の持てる年となりますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



宮川幹雄教育長退任

宮川教育長は、平成19年12月26日より就任をいただき、3期（11年間）平成30年12月25日で任期満了を迎えられ、この度退任となられました。永年にわたり栄村発展のためにご尽力をいただいたことに感謝を申し上げます。

新教育長に石澤清人氏

村長は、12月定例議会で議会の同意を得たうえで、新教育長に、石澤清人氏を任命しました。

任期は、平成30年12月26日から3年間です。

人事異動（12月26日付）

総務課兼会計税務課長
◆大　庭　和　彦
〈教育委員会事務局長〉

栄分署に新たな消防ポンプ自動車が整備されました

12月11日に栄分署において新たな消防ポンプ自動車が整備され、安全祈願式が行われました。

今回整備された消防ポンプ自動車の大きな特徴として、圧縮空気泡消火装置（CAFS）が挙げられます。

これは、ポンプから送られてくる水に混合装置で消火薬剤が混ぜられ、その混合液にコンプレッサーで空気を送り込むことにより、消火泡を生成し放射するシステムです。新ポンプ車は600Lの内蔵型水槽を有しており、この積載水と圧縮空気泡消火装置により、少人数でより効果的な消火活動が可能になります。

▲整備されたポンプ車

健康ボランティア養成講座

健康的な料理やお家で出来る運動を知りたい、一緒に健康づくりする仲間を作りたい方、この講座に参加してみませんか。当講座に3回以上参加すると、修了証書が交付され、「食改さん」として活躍できます。また栄村の方には送迎の用意がありますので、申し込み時に併せてお伝えください。

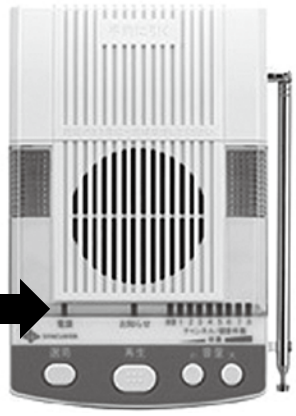
日　時	内　容	場所・料金
2月21日㈭ 10時～14時	講話：健康づくりについて 体験：料理教室	◇場所 北信保健福祉事務所（飯山市） ◇参加費 料理教室：500円 ◇定員 24名 ◇申込〆日 H31年2月14日
2月26日㈫ 10時～14時	講話：メンタルヘルスについて 体験：料理教室	
3月6日㈬ 13時～15時	講話：運動の効果について 体験：楽脳フィットネス(仮)	
3月12日㈫ 10時～14時	講話：食事のバランスと食文化について 体験：料理教室	

【申込・問合せ先】
長野県北信保健福祉事務所
健康づくり支援課
☎0269-62-6311

告知スピーカーの乾電池を確認しましょう

各戸へ設置している告知放送スピーカーは、乾電池（単3×4本）を入れることで、停電時でも村からの情報を放送しますが、乾電池が入っていないと聞くことができませんので、日頃から電池を入れるようにしましょう。

なお、液漏れによる故障を防ぐため、1年に1回程度、電池交換をするようにお願いします。



※電池がなくなると一番左のランプがゆっくりと点滅します。

【問合せ先】
総務課　情報防災係
☎0269-87-3112

農業所得の収支計算はお早めに 1月25日までに提出をお願いします

何をするの？

◇2月から始まる確定申告に向けて、平成30年中の農業に関係する収入と支出を集計しましょう。

①集計する期間は『平成30年1月1日～平成30年12月31日』です。

②伝票や領収書をもとに集計し「各月別の収支の状況」に記入しましょう。

◇平成30年中に農業機械や施設の取得・廃棄があった場合は、「**減価償却資産報告書**」に記入し報告しましょう。

①報告する資産は、取得金額が10万円以上の機械等です。

②資産に変更がない場合は報告の必要はありません。

記入する紙はどうするの？

昨年に農業所得（白色）を申告された方には、用紙等を配布してあります。お手元に用紙がない場合は会計税務課税務係へお問合せください。

記入したらどうするの？

平成31年1月25日㈮までに、役場会計税務課または秋山支所へ提出してください。

納税相談を円滑に行うために、収支の状況を事前にパソコンに入力する必要があります。相談当日に持参いただくと、申告相談に非常に時間がかかり、他の方をお待たせする事になりますので、必ず期限までに提出をお願いします。

申告相談はいつから？

申告相談の会場・日程については、広報さかえ2月号でお知らせします。

【問合せ先】
会計税務課　税務係
☎0269-87-3111

軽自動車の廃車手続きはお早めに

軽自動車税は、毎年4月1日に所有している方に課税されます。

次に該当される方は、お早めに廃車手続きをしてください。

・使用していない車があるが、廃車手続きをしていない方
・他人に車を譲ったが、名義変更をしていない方
・村外に転出したが、住所変更をしていない方

【問合せ先】
総務課　税務係
☎0269-87-3111

税金ってなんですか？④

総務課税務係では、栄中学校3年生の社会科の授業において「租税教室」を開催しました。

「租税教室」とは、次の世代を担う児童や生徒が民主主義の根幹である租税（税金）の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を納め、その使い方に関心を持ち、さらには納税者として社会や国のあり方を主体的に考えるという自覚を育てることを目的に行われます。

「民主主義の根幹」とは、国民（村民）が代表者を選挙で決めます。選ばれた国会議員（村議会議員）は、政府（役場）が提出した税金の集め方や使い方を審議（話合い、可否を決める）します。国民（村民）は公共サービス（福祉、教育等）を受け、公共施設（消防・警察・病院・道路等）を利用する事が出来る代わりとして税金を納める、というような感じです。

▲租税教室の様子

「租税教室」では、税金の無い世界を表現したDVDを視聴しました。税金の無い世界では街中にゴミが放置され、傷んで穴の開いた道路はそのまま、治安が悪く警察に頼んでも有料、火事で消防を呼んでも有料です。また、年金制度が無いので高齢になっても働かないと暮らしていけない世界でした。

「今のあたりまえの生活、全て税金があってこそのものです。皆さんが18歳になり選挙で投票出来るようになったら、立候補者の話をよく聞いて正しい判断で投票してください。それが税に関する民主主義の基本原則です。国民の三大義務には〝教育〟〝勤労〟〝納税〟が掲げられています。皆さん、今は一生懸命勉強してください」とまとめました。

「この社会あなたの税がいきている」村税等は納期限までに納めましょう。

【問合せ先】
会計税務課 税務係
☎0269-87-3111

福祉医療費給付金制度をご利用ください

村では、早期の適切な医療機関への受診や医療費の負担軽減など、福祉の増進を図るため、福祉医療費給付金制度を実施しています。この制度は、対象者の方が医療機関等（薬局を含む）を受診した場合、窓口で支払った医療費を給付金としてお支払いするものです。※平成30年8月から、18歳未満の対象者の方が県内の医療機関を受診した場合、窓口負担がなくなりました。

◇給付対象

保険診療分が給付の対象となります。

区分	対象者
老人	68歳、69歳の方
障がい者	身体障害者手帳１～３級
	65歳以上で国民年金法施行令別表に該当する方
	療育手帳Ａ１・Ａ２・Ｂ１
	精神保健福祉手帳１・２級
乳幼児・児童生徒	満18歳までの方
母子家庭・父子家庭等	18歳未満（高等学校等卒業まで）の子及びその子を扶養している方
	父母のない18歳未満（高等学校等卒業まで）の方

※医師が認めた場合であれば、治療用装具（コルセット等）の購入や、はり・灸・マッサージ等についても給付の対象となります。申請方法等の詳細は担当へお問い合わせください。

◇受給者の皆さんへ

医療機関を受診される際、「福祉医療費給付金受給者証」を**必ず提示してください。**

県外の医療機関の場合は、役場窓口にある支給申請書に領収書を添付して申請してください。

※県内の医療機関に受給者証を提示し忘れた場合も、県外の医療機関と同様に申請してください。

【問合せ・申請先】
住民福祉課　戸籍住民係
☎０２６９-８７-３１１４

老人長期入院見舞金について

村では、70歳以上の方が連続して20日以上入院された場合に、1日当たり５００円の見舞金を支給しています。（上限１８０日）

なお、この見舞金の支給を受けるには、申請が必要です。申請用紙は役場窓口にありますので、必要事項をご記入の上、入院期間を証明できる書類（診断書・領収書など）を添付して申請してください。

【問合せ・申請先】
住民福祉課　戸籍住民係
☎０２６９-８７-３１１４

合併浄化槽を設置しませんか？

浄化槽事業は本年度末時点で普及率80％を超えています。

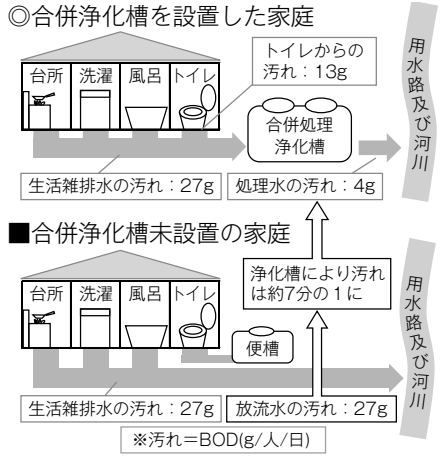
村では、事業所・家庭用含め５２５基を管理しています。

生活環境改善、また自然環境にも配慮した合併浄化槽の設置について、ぜひご検討ください。

設置費用として工事費の１割を負担いただくようになりますが、二世帯住居等以外であれば、12万円～16万円で設置でき、（ただし宅内工事は要負担）月々の使用料は３，０９０円もしくは３，４００円となります。

維持管理費用は使用料で賄いますので、原則使用者側のメンテナンスは必要ありません。

限られた予算の中での実施となりますので、平成31年度に設置を希望される方はお早めに申込みをお願いします。



【問合せ・申請先】
産業建設課　建設係
☎０２６９-８７-３１１３

平成31年度 地域発元気づくり支援金 事業募集について

県では、豊かさが実感でき、活力あふれる輝く長野県づくりを進めるため、市町村や公共団体が住民と共に、地域の元気を生み出す事業に対して支援金を交付しています。

◇**対象者**

①市町村、一部事務組合、広域連合

②公共的団体等（公共的活動又は地域の活性化に資する活動を営む団体）

◇**対象事業**

自らの知恵と工夫により自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業（補助金額が30万以上）

※県及び地域で重点的に推進するテーマに該当する場合は以下の補助率にかさ上げ

◇**交付対象経費**

交付対象事業の実施に要する経費から、次に掲げる交付対象外経費及び特定財源を控除した経費

◇**交付対象外経費**

①団体・施設の運営費や人件費食糧費等

事　業	補助率	重点テーマ補助率
ソフト	3/4以内	4/5以内
ハード	2/3以内	3/4以内

◇**選定方法**

地域に設置する選定委員会の審査を経て、採択事業を決定

◇**募集期間**

平成31年1月4日㈮～平成31年2月1日㈮

◇**応募方法**

必要書類を役場総務課企画財政係へ2部提出してください。

【問合せ先】

北信地域振興局企画振興課

☎0269-23-0201

総務課　企画財政係

☎0269-87-3112

必要書類、詳しいことは長野県ホームページをご覧ください。**元気づくり支援金** で検索！

北信広域連合嘱託職員 採用試験について

北信広域連合では、左記のとおり平成31年度採用予定の嘱託職員の募集をしています。

◇**職種**

①介護員

②看護師

◇**必要な資格**

介護員：特に必要ありません。ただし、介護福祉士等の有資格者は報酬において優遇措置有

看護師：看護師又は准看護師

◇**年齢要件等**

原則、特に制限はありませんが、健康で業務に従事できること

◇**住所要件**

勤務に支障がない通勤可能な範囲とします。

◇**試験日**

平成31年2月10日㈰

◇**試験会場**

中野市豊田支所2階第1会議室

◇**採用人数**

いずれも若干名

◇**募集期間**

平成30年12月10日～平成31年1月31日まで

【問合せ先】

北信広域連合事務局

☎0269-38-5050

予備自衛官補 募集について

自衛隊長野地方協力本部では、左記のとおり予備自衛官補を募集しています。

◇**概要**

自衛官未経験者を予備自衛官補として採用し、所要の教育訓練を経た後予備自衛官として採用する制度

◇**資格**

一般：18歳以上34歳未満の者

技能：18歳以上で国家免許資格等を有する者。保有する資格等に応じ53歳～55歳未満の者

◇**受付**

平成31年1月7日～4月12日

◇**試験日**

平成31年4月20日～4月24日（内1日）

【問合せ先】

自衛隊長野地方協力本部長野地域事務所

☎026-235-6026

第46回武蔵村山市民駅伝競走大会に栄村から2チーム参加

12月9日、姉妹都市である東京都武蔵村山市の駅伝大会に栄村から特別参加として中学生と一般の2チームが出場しました。

今回の大会には132チームが出走し、とても賑やかでした。沿道での声援やコース沿いに栄村の観光ポスターを掲示して応援をしていただきました。また、今年も東京栄村会の皆さんが応援に駆け付けてくれるなど心温まる交流ができました。

▲栄村チームの皆さん

村民アルペンスキー教室　参加者募集

村民の皆さんがアルペンスキーに親しみ技術を高めることを目的に開催します。

スキースクールの指導員が親切丁寧に指導します。

◇**期　日**
平成31年1月26日(土)
受付9時

◇**会　場**
さかえ倶楽部スキー場

◇**講　師**
スキースクール指導員

◇**参加資格**
栄村に在住又は在勤する者

◇**参加費**
レッスンは無料です。
（用具やリフト券が必要です）

◇**申込期限**
平成31年1月18日

◇**申込先**
教育委員会事務局

◇**申込書（詳細は申込書をご覧ください）**
教育委員会事務局、秋山支所、スキー場窓口で配布

【問合せ・申込先】
教育委員会事務局
☎0269-87-3118

栄村スキー大会　参加者募集

第48回栄村スキー大会の参加者を募集します。

タイムを計測しますので、友達や職場仲間で参加してみませんか。

◇**期　日**
平成31年2月3日(日)
開会式　8時30分

◇**会　場**
さかえ倶楽部スキー場ファミリーコース

◇**参加資格**
栄村に在住または在勤する者

◇**種　目**
大回転競技

◇**申込期限**
平成31年1月28日

◇**申込先**
教育委員会事務局

◇**申込書（詳細は申込書をご覧ください）**
教育委員会事務局、秋山支所、スキー場窓口で配布

【問合せ・申込先】
教育委員会事務局
☎0269-87-3118

さかえ倶楽部スキー場情報

18～19シーズンオープン

今年も何とか降雪が間に合い、予定どおり12月15日にオープンすることができました。

当日は大勢のお客様で賑わい、オープニングセレモニーの後は甘酒や豚汁などが振舞われました。

今シーズンも栄村の冬が楽しく過ごせますよう、村民皆様のご利用をお待ちしております。

１・２月のイベント

- １月20日㈰
  スキーこどもの日宝探し大会①
- ２月９日㈯
  バレンタインチョコつかみどり
- ２月17日㈰
  スキーこどもの日宝探し大会②
- ２月24日㈰
  レストラン村民感謝デー

【問合せ先】
さかえ倶楽部スキー場
商工観光課　企業係
☎０２６９-８７-３３５５

▲大勢のお客様で賑いました。

▲甘酒などが振る舞われました。

さかえ雪ん子まつり参加者募集

第27回さかえ雪ん子まつりを平成31年３月16日㈯に開催されます。

毎年さかえ雪ん子まつりは、村民だけでなく、栄村と周辺地域の企業・各種団体等のご支援ご協力をいただき、開催しています。

今回もさかえ雪ん子まつりを一緒に盛り上げ、ご協力していただける方を募集します。

皆様の申込みをお待ちしています。

◇日　時
平成31年３月16日㈯
15時～20時

◇会　場
さかえ倶楽部スキー場

◇募集内容
ステージ出演・露店市出店・雪上花火協賛

※露店市は飲食以外の出店も可能

※ステージ出演、露店市出店は申込多数の場合抽選となる場合もあります。

◇募集期間
平成30年12月14日㈮～平成31年２月５日㈫

※詳細は栄村秋山郷観光協会ホームページまたは12月19日に全戸配布しました募集チラシをご覧ください。

森宮野原駅前震災復興祈念館「絆」１階事務局、栄村役場窓口でも申込書を用意しております。

【申込・問合せ先】
第27回さかえ雪ん子まつり実行委員会事務局（栄村秋山郷観光協会）
☎０２６９-８７-３３３３
※休館日あり／年末年始・毎週月曜（祝日の場合翌火曜）

▲大勢の皆さんの参加お待ちしています

手作り水餃子教室

12月16日に飯山日中友好協会中国料理研究家の西条智子先生を講師にお招きし、「手作り水餃子教室」を開催しました。

中国では普段から食べられている水餃子を皮から手作りするとあって、料理好きな方々が多数参加しました。20名の参加者が5人ずつ4グループに分かれて料理をしました。具材は白菜、ひき肉、ニラとシンプルですが、皮は強力粉と薄力粉を混ぜ、耳たぶくらいの柔らかさできめ細やかになるまで十分にこねました。一番大変だったのは、生地を棒状に伸ばし適当な大きさにちぎった後、麺棒を使い丸く成型する作業でした。先生のお手本を見ていると、簡単そうですが実際はとても難しく、片手で生地を回しながら麺棒で伸ばしていきます。「丸くならない」「右手と左手が違う動きをするから難しい」と皮づくりに悪戦苦闘していました。しかし、さすが料理上手な皆さんだけあってすぐにコツをつかみ、あっという間に上達し皮を作る人、餡を包む人、茹でる人と分担し作業が進みました。

茹であがった出来立ての水餃子はとてもおいしく皆さん箸が止まりませんでした。参加者からは「次回の開催を楽しみにしている」とリクエストがあり、にぎやかな料理教室になりました。

（取材：特命対策課）

村史編纂室から㉑

新たな山城を発見

昨年7月、栄村森林組合職員が、仕事で通称「雨引」と呼んでいる月岡奥地の山頂に赴きました。その折、周辺で堀らしき窪地を見つけ、「山城跡」ではないかと村役場に情報を寄せてくれました。これを受けて編纂室では、一帯の所有者である月岡生産森林組合長とともに現地調査を行いました。明らかに人の手によるものと分かる堀や土塁の痕跡であることは確認できましたが、灌木やササなどに遮られていて城跡と断定するのは早計と判断しました。

▲雨の中、城跡調査　11/17㈯

広葉樹の葉が落ち、見通しが利くようになった11月、遠藤公洋執筆員（村史中世担当）とともに再度現地調査を行い、明らかに城の遺構であることを確認しました。遠藤執筆員によると、郭（くるわ）、堀、土塁、土橋が残っていて、規模も比較的大きく、残存遺構は良好であるということでした。

村史編纂室では来年度に当該地を刈払いし、細部の調査を行う予定です。

歴史出前講座(2)　開催

11月8日午後6時30分から北野公民館を会場に2回目の歴史出前講座を開催しました。講師は編纂室の樋口和雄専門員で、江戸時代の東部地区の人々の暮らしにスポットを当て、婚姻等越後との付き合い、飢饉の歴史が紹介され北野神社・天満宮に収められている数々の美術工芸品も解説されました。

栄村史編纂室
☎0269-87-3118

秋山協力隊通信 Vol.43

栄村の皆様、あけましておめでとうございます。早いもので協力隊生活二度目のお正月を迎えました。

今年は和山の新居で迎える初めての冬という事で実家の愛知県には帰省せず和山のお正月を過ごしております。

協力隊2年目の私の活動の軸は「継続」。9月の上野原地区天池でのキャンドルイベント「夢灯」、10月の切明温泉前コンテナ屋台出店の「郷の市」と観光協会さんも協力隊も新メンバーの力が加わりお客様へのおもてなしもパワーアップさせることが出来ました。

▲郷の市にて記念撮影

やはり2年目となりますと応援してくださる声も増え実績の積み重ねの大切さを実感しております。フリーペーパー「郷シル」も3号まで発行しこちらも刊を重ねるごとに反響をいただくようになりました。これからも継続していけるよう取り組んでいきたいと思っています。何事も始めてからそれなりの形として安定させるにはやはり最低3年は要すると感じています。しかし地域おこし協力隊の活動任期は3年間ですので私としては出来るだけ今までの人生の中で経験してきたことや得意としてきたことを活動の中で生かしていきたいと思っています。例えばアパレルで販売職をしてきた事も、少しOLだった事も、ネパール人のカレー屋でアルバイトしていた事も、山岳会で山登りしていたことも、羊毛フェルトでクラフトを始めた事も、学生のころ授業中に先生の似顔絵をノートに落書きしていた事も。バラバラに見えていたことが今の仕事の中では全て大切な材料になっています。地域おこし協力隊の仕事は3年間のその先に自分の「つとめ、かせぎ、くらし」を持つことを見据えています。今まで生きてきた街とは全く違う環境で地域の中でどんな力となれるか、というところで積み重ねてきた自分自身がくっきりと見えてくるように感じていますし、人生に無駄な経験は一つもないという事を本当に実感しています。協力隊として活動中のこの3年間もこの先の人生の大切な材料になります。いよいよ迎える任期最終年度に向けてこの冬の雪解けまでの時間を大切に過ごしていきたいと思っています。

（地域おこし協力隊　杉森奈那子）

苗場山麓ジオパーク通信 ㊹

今年も12月は暖かく雪の降らない日々が続きましたね。「こりゃ楽でいいや」と思った方、「雪が降らないと冬らしくなくてどうにも…」と思った方、様々な方がいらっしゃると思います。

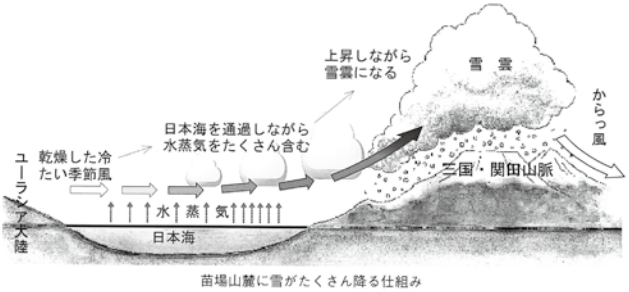
苗場山麓ジオパークの仕事を始めてから、雪の降り方について地域の方からいろいろなお話を聞きました。その中で面白かったのが、津南町と栄村でなぜこの地域で雪が多いのか、違う言い伝えがあったことです。

津南町では「三国山脈のせいで雪が多い」と言います。三国山脈は新潟と群馬の県境を通る山脈です。

栄村では「関田山脈のせいで雪が多い」と言います。関田山脈は皆さんご存知の通り、野々海池のある山脈ですね。

この言い伝えはどちらかが間違っているというものではなく、どちらもきっと正しいのでしょう。冬の季節風が日本海を渡り、水蒸気を含み、山にぶつかり雪雲となって雪を降らせる。細かい地形による風の流れや雲のでき方はまだ不明な部分が多いですが、これからのジオパーク活動で明らかにしていきたいと思います。

（文責　越智）



苗場山麓に雪がたくさん降る仕組み

苗場山麓で雪が降る仕組み
『苗場山麓ジオパークガイドブック概要編』より

ジオパークお宝巡りのお知らせ

【日時・内容】
1月18日㈮　18時30分～20時
今回は座学です。今年度のお宝めぐりの紹介（地球の歴史）がテーマです。どなたでも参加できます。

【場　所】津南町　総合センター

【持ち物】筆記用具

【申込み・詳しい問い合わせ】
苗場山麓ジオパーク推進室
☎025-765-1600

※ジオガイド養成講座も兼ねています。ガイド認定試験の受験を考えている方はぜひ参加ください。

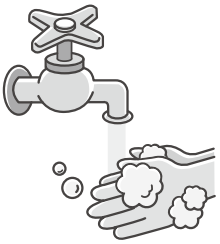
保健だより

インフルエンザにご注意を

インフルエンザの流行時期になってきました。自分がインフルエンザにかからない、また、家族や周囲の人にうつさないための基本的な対策をしましょう。

①手洗い

インフルエンザのみならず、風邪・ノロウイルス等さまざまな感染症予防の基本です。30年11月の広報さかえの保健だよりでもお知らせしました。手洗いの方法も載せているので今一度確認して、正しい手洗いを行いましょう。



②マスク

こちらも手洗いと併せて誰もができる感染症対策です。着用のポイントは、

- 口から鼻まで、マスクと肌の隙間ができないようぴったりとつける。
- 一度使ったマスクにはウイルス、細菌が付着するので、きれいに見えても使いまわしはしないことです。

一人ひとりの予防で、冬を元気に乗り切りましょう。

不妊症治療支援に関するご案内

不妊に悩むご夫婦が増えてます。不妊の原因は、男性･女性ともにほぼ同じ割合であると言われており、決して女性だけの問題ではありません。二人そろって受診し、検査等を始めることが治療への近道になります。不妊の治療は、精神的・経済的・身体的な負担が伴うために、村でも治療費の一部助成により子どもを授かりたい夫婦の希望がかなえられるように支援を行っていますので、ご相談ください。

◇栄村における不妊治療補助金の対象者

1．法律上の婚姻関係で、不妊治療を行っている夫婦
2．栄村に引き続き１年以上住所を有する夫婦
3．医療保険に加入している者　　4．村税等の滞納がないこと

◇補助金の額および期間について

長野県の不妊治療助成を受けることができる場合は、その助成を受け取ることができる額を除きます。

助成金の限度額は１年度あたり10万円を限度とし､通算５年以内とします。年度ごとの申請になります。保険診療一部負担金及び保険適用外医療費の合計額とします。

◇申請方法

申請先（窓口）　栄村役場地階　健康支援課　健康増進係　TEL:0269-87-3020

村への申請用紙とは別に、医療機関で記入いただく証明書等がありますので、申請を希望される場合は事前に受け取りに来てください。

不妊治療の助成や治療に関する相談がありましたら、母子保健担当保健師が相談に応じますのでお気軽にご相談ください。

みゆき野かわら版＋津南情報

岳北地域＆津南情報コーナー

上郷小学校産！もち米・切り餅大好評！

上郷小学校５・６年生が育てたもち米と、そのもち米で作った切り餅を津南町物産館・ファミリーマート上郷店で販売しました。津南物産館では、開始早々に切り餅が完売。もち米も１時間経たないうちに完売と大好評に終わりました。今回手に入れられなかった方は、また来年に期待しましょう。

津南町

バロック音楽 コンサート
～サイモン・スタンデイジ氏を迎えて～

大阪市と飯山市の市民交流姉妹都市企画として、飯山市では古楽器の世界的巨匠サイモン・スタンデイジ氏を迎えてバロック音楽のコンサートを開催します。17世紀から18世紀半ばのヘンデル、バッハ、ヴィヴァルディに代表されるヨーロッパ音楽を、日本古楽アカデミーの皆さんがヴァイオリン、チェンバロ、ヴィオラなどのオリジナル楽器で演奏します。

豪華にきらめくバロック音楽の音色をたっぷりご堪能ください。

日時：平成31年２月24日㈰　14:00開演（13:30開場）
場所：文化交流館なちゅら　大ホール
プログラム：ヴィヴァルディ／ヴァイオリン協奏曲「四季」（全曲）ほか
入場料：前売2,500円　当日3,000円（全席自由）
※未就学児のご入場はご遠慮ください。
チケットの予約・お問い合わせ：
飯山市文化交流館なちゅら　☎67-0311又は☎67-0668
（販売開始時期はお問い合わせください）

飯山市

木島平村

木島平米 米のオリンピックで10年連続の金賞受賞

11月26･27日、「第20回米･食味分析鑑定コンクール：国際大会」が岐阜県高山市で開催され、全国各地から自慢の米5,717点が出品されました。木島平村では次のとおり各部門で表彰を受け、木島平米が平成21年から連続受賞となる“10年連続金賞”を受賞しました。

全国に大きな存在感を示すことができましたが、これからも木島平米の全国トップブランド化に向けた取組みが続けられます。

◇国際総合部門：金賞２人、特別優秀賞２人
◇栽培別部門認定農業者：金賞１人、特別優秀賞１人
◇栽培別部門若手経営者男性：金賞１人
◇小学校部門：特別優秀賞

問い合わせ：木島平村 産業企画係　☎82-3111【内線201】

野沢温泉村

野沢温泉スキー場 イベント情報　Part 1

■ナスキーとソリレース
１月６日、２月３日　13:30～　日影ゲレンデ

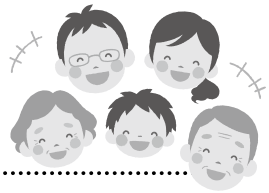
■ナスキーと一緒に餅つき大会
１月12日　14:00～
日影インフォメーションセンター前

■朝いちシュプールを描け！
１月12日、２月18日、３月４日　7：50～
長坂ゴンドラ集合　※悪天候による中止あり

■スキースクール祭
１月12日、２月18日、３月４日
スキー･スノーボード半日無料レッスン（先着30名）

詳しくは、野沢温泉スキー場のホームページをご覧ください。
〈問い合わせ〉
㈱野沢温泉
☎0269-85-3166

1月 生活カレンダー



行事予定

8日(火) 園開放日【北信保育園 9時】
22日(火) 園開放日【北信保育園 9時】
24日(木) 心配ごと相談会【旧医師住宅 9時】

健康ガイド

9日(水) 子育て相談日【集団検診室 9時】
15日(火) 離乳食教室【集団検診室 10時】
18日(金) あそびの教室【北信保育園 9時半】
2月6日(水) 子育て相談日【集団検診室 9時】

さかえ倶楽部スキー場イベント情報

20日(日) スキーこどもの日宝探し大会①
2月9日(土) バレンタインチョコつかみどり
17日(日) スキーこどもの日宝探し大会②
24日(日) レストラン村民感謝デー

1月の納税等

○村民税　○国民健康保険税
○介護保険料　○後期高齢者医療保険料
○村営住宅料　○ケーブルテレビ使用料
○教員住宅使用料　○合併浄化槽使用料
○保育料　○農業集落排水処理使用料
○温泉休憩所使用料　○学童保育料

納期限は　1月31日㈭です

口座振替日
農協・郵便局　1月22日㈫
八十二銀行・県信　1月25日㈮

※振替指定口座の残高を事前にご確認ください。

世帯と人口（12月1日現在）

世帯数	825世帯	前月比−4
人　口	1,857人	−9
男	892人	−8
女	965人	−1

11月中の異動

出生	0
死亡	5
転入	1
転出	5

栄村の気象（11月）

最高気温	21.3℃	11月8日㈭	
最低気温	0.0℃	11月24日㈯	
平均気温	8.8℃	総雨量	59.5㎜

◆ 編集後記 ◆

新年明けましておめでとうございます。本年も「広報さかえ」をよろしくお願いいたします。

雪も降り冬本番となりました。雪と聞くと「いらない」などネガティブなイメージを持たれている方も多いと思いますが、「雪があるからできる」などポジティブ思考で雪と共存していけるといいですね。さかえ倶楽部スキー場では今年も様々なイベントを企画しています。さかえ倶楽部スキー場で新たな冬の楽しみを見つけてみませんか!? ㊫

11月火災・救助・救急出動件数

	火災	救助	救急
飯山市	2	0	79
木島平村	0	0	23
野沢温泉村	2	0	14
栄村	0	0	19
管轄外等	0	0	0

栄村の搬送医療機関	
飯山日赤	15
津南病院	2
その他	2
不搬送	0
合計	19

十日町地域消防署との応援協定による出動を含みます。

想定外　想定しての　防火策

新年のごあいさつ

会長　渡辺利正

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新たな抱負と期待を抱き新年を迎えるに当たりお喜び申し上げます。今年は元号も変わり、新しい時代の始まる節目の元年となります。昨年は雪解けも早く農作業においては順調にスタートができましたが、非常に自然災害が多い年でもありました。５月25日長野県北部を震源とする震度５強の地震が発生しました。８年前の地震に比べ被害は少なかったが、東部地域では家屋、水田等に被害が発生しました。６・７月に入っては、降水量が非常に少なく水不足に見舞われました。一部の地域では稲が枯れる等の被害が発生。一方全国的には九州、四国、西日本では記録的な大雨、北海道では地震による災害が発生し、大きな被害となりました。自然災害は予想できず一番大敵です。

近年米の需要が８万トンずつ減少していると言われましたが、現在は10万トンとも言われています。長野県の30年度の主食用米の収穫量は19万３４００トン約２分の１相当にあたります。国の生産調整「減反」が廃止、種子法も廃止となり、市場任せ、企業任せとなり、米価の下落、種子の高騰も懸念されるところです。ＴＰＰ「環太平洋連携協定」が昨年12月30日より発効となり、ＥＰＡ「欧州との経済連携協定」、ＦＴＡ「米国との二国間自由貿易協定」等、関税の引き下げ撤廃で、農畜産物の価格の下落が懸念されるところです。一方では米、果実類等の輸出も近隣で増えてきています。消費者のニーズに答える生産が必要と思います。今年度より新たに品目を限定せず全ての農産物が対象となる収入保険制度が始まります。農業法人、認定農業者、青色申告者が対象となります。この機会に検討頂ければと思います。

農業従事者の高齢化が進み、担い手不足が深刻な課題であり、農地も年々減少、遊休農地、荒廃農地が増えております。農業委員、農地利用最適化推進委員では、農地パトロール、農業者との懇談会等実施し、これらの課題に取り組んでいます。皆様のご指導ご協力をお願いいたします。最後に皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げて新年のご挨拶とさせていただきます。

農地パトロール

のぞみ

栄村農業委員会だより

No.83

〈発 行〉
栄村農業委員会

〈編 集〉
農委編集委員会

栄村の伝統野菜

「ししこしょう」の取組紹介

ししこしょうとは、「栄村で生産される在来種のトウガラシ」の名称です。栄村の年配者は唐辛子のことを「こしょう」と呼ぶ方もいるようです。名前の由来は、不明です。

栄村産の「ししこしょう」は甘みがあり後で辛さが際立つ唐辛子です。

この唐辛子は、横倉地区で長年栽培していた方がおり、信州大学の松島准教授に横倉で栽培されている唐辛子が他にない唐辛子だと言われています。

形状は、神楽南蛮、ぼたんこしょうの中間的な大きさで、ピーマン型で少しピーマンよりも長細く肉厚なことが特徴です。

平成28年6月に栄村産の「ししこしょう」が長野県の信州伝統野菜に認定され、その年に栽培農家の皆さんと栄村伝統野菜振興部会を立ち上げ、青果の出荷だけでなく加工品の開発も検討をしてきました。

青唐辛子を使用して、おかず味噌の生産を開始し、物産館や直売所を中心に販売を開始しました。

昨年度は、一味唐辛子の開発などに取り組みました。

一味唐辛子は、本年度中に販売できるように取り組んでいます。

栽培農家の皆さんは、在来種の栽培とあってか、栽培が一般の唐辛子やピーマンよりも難しく、栽培面積の拡大が大変といったこともあり、原料の確保には、苦労をしているようです。

もっと、ししこしょうが売れる様に村でも農家の皆さんと共に頑張って行き、生産者の拡大につなげていきたいと思います。

（文責・栄村役場産業建設課産業振興係）

昨年試供品として開発し、今年度販売予定

青色申告を始めるには、まず何をすればいいの？

新たに青色申告を始めるためには、個人の場合、**3月15日までに、最寄りの税務署に「青色申告承認申請書」を提出**する必要があります。

この申請を行えば、その年分の所得から、青色申告を行うことができます（申告時期は翌年2～3月）。

農業者の皆さん 青色申告を始めましょう！

- 青色申告を行う農業者（個人・法人）は収入保険に加入できます。
- 収入保険は、全ての農産物を対象に自然災害や価格低下などによる収入減少が生じた場合に補償する保険です。最寄りの農業共済組合に相談願います。
- 青色申告の相談は、税務署にお問合せください。

収入保険は農業収入の減少を広く補償します！

編集後記

平成28年法律の改正により、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進を推進するために農地利用最適化推進委員を設けた農業委員会が始まりました。この推進委員は栄村では4名です。議決権がないのですが、農業委員のメンバーと共に活動をしています。最大の役目は農地の有効利用の意義、重要性を地域に伝えることだとしています。農地の有効利用、これには高齢社会、担い手不足、遊休農地の発生防止どころか益々増えていく現実に委員としてどう向かうか悩みどころでもあります。ふるさと納税では特A米を3860俵1億5千4百万円ほどの経済効果を生んでいます。しかしながらふるさと納税はあくまでも寄付行為、いつまでもというのは当てになりません。村の農業の将来ビジョンを定め、農の心を持った村民のかかわりが何よりだと思います。栄村の農産物が健康と活力ある未来の村に結び付いてもらいたいものです。

広報編集委員 ㊞

極野山菜生産販売組合みずの会

７月 山の幸料理教室
（会場：極野公民館）

極野山菜生産販売組合みずの会
代表　**藤木とき子**

平成29年の春、「極野の豊富な山菜を活かして何かできないか」「少しでも地域の資源を活用しながら楽しく暮らしていきたい」そんな思いで極野の女性に声をかけ、有志で「みずの会」を立ち上げました。

初年度は、山菜を一年中食べられるお総菜として販売することをめざして、山菜を干したり塩漬けにしたりと保存をしておき、どのように調理するか試行錯誤しながらレシピづくりに奮闘しました。それを小袋に入れて、村内の物産館や直売所で販売しました。

しかし、お総菜の販売だけでなく、もっと山菜を活かしたことができないかと悩んでいた時に鑓水愛さん（長瀬）と出会い、県の元気づくり支援金を活用して、新たな山菜料理を考案することになりました。その活動の一つに「山の幸料理教室」がありますが、極野だけでなく、村内各地から沢山の方に参加していただきました。

その教室で学んだ新たな山菜料理でお弁当を作り、栄村ファンクラブのみなさんをおもてなししたり、ウドの風味を生かしたパスタソースを作ることもできました。

極野集落公民館の調理室は、保健所の許可を得ているため、お総菜の提供ができます。加工品の販売は全くの素人ですが、来年は先進地へ視察に行って、各地の取組みを学び、添加物なしの自然のもので山菜料理を提供する研究をしていきたいと考えています。時には大変なこともありますが、山菜がたとえ少額でも売れたらうれしいし、やってみると楽しいこともあります。石の上にも3年という気持ちで頑張りたい思いです。

公民館報
さかえ
第326号
平成31年１月１日発行

■ 発行
栄村公民館
〒389-2703
長野県下水内郡栄村
大字堺9214-1

■ 電話
0269-87-2100

■ 編集
栄村公民館報編集委員会

こらっせ通信

あっという間に過ぎ去った平成の時代。平成元年、日本は消費税3％の導入や美空ひばりの国民栄誉賞受賞、大相撲千代の富士が通算最多勝記録を樹立といった出来事があった一方、栄村では、北信小学校（現栄小学校）体育館完成、青倉トンネルの開通、野々海キャンプ場のオープン、のよさの里や楽養館といった各施設の完成がありました。

「30年」というとつい最近の事のように感じますが、身近な暮らしに目を向けてみると、目まぐるしく変わっていることを実感する人も多いのではないでしょうか。

私たちは8年前に大きな地震を経験し、被災地の過酷さを実感しました。しかし、そのおかげで人のつながりの大切さや「おたがいさま」と支え合う気持ちの大切さ、隣近所のありがたさを再確認することができました。普段の生活を取り戻すと、あの時の感情を忘れてしまいがちですが、昔から支え合ってきた「おたがいさま」の心を忘れず、これからも温かい栄村であり続けたいですね。

その地域やその未来は一人ひとりの物語から作られると言っている人がいました。みなさんはどんな未来を過ごしたいですか？

さて、今年の5月には新年号へと改元されます。今から30年後はどのような世界になっているのでしょうか。

▲3.12震災時の避難所での炊き出し（箕作公民館）

こらっせ来館者数

・平成30年度 来館者数（12月末現在）……1，522名

・オープン（平成28年8月）以降 来館者数……4，420名

栄村青少年育成協議会主催

自然学校で米の副産物を活用!!

12月16日(日)、こらっせにおいて自然学校が行なわれ、17名の小学生と4名のリーダー（中学生）が参加しました。この日は自分たちで育てた稲藁を使ったしめ縄づくりや米ぬかのカイロ作りに挑戦しました。お米を取るだけでなく、藁でなんでも作り出してきた暮らしや技があった事や、自然素材でできた米ぬかカイロは環境にも人にもやさしいことを体で感じることのできた一日となりました。

1月7日は七草の日。一年の無病息災を祈って七種類の草を入れた塩味のおかゆを食べるという日本の風習ですが、お正月で弱った胃を休めるためとも言われているようです。

最近では七草の時期になると、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロが1パックになって販売されていますが、雪深い栄村ではどのような七草粥を食べていたのでしょうか。

昭和47年に発行された「栄村の民俗」という本に、昭和46年に廃村した暮坪地区の七草粥が紹介されていました。そこには「米、粟、アズキ、菜っぱ(野沢菜のつけもの)、栗、柿等」を入れると記されています。クリは茹でたクリに糸に通して乾燥させたもの（別名ジュズックリ）で、柿は干し柿を使用したようです。

みなさんのお宅ではどのような七草粥を食べていますか？栄村の長い冬、少し昔の話を思い出してみるのも、家族のあたたかさや現代の豊かさ、時には昔あって現代には失われてしまった大切なものに気づくきっかけとなるかもしれません。

亥年に思う

今年は年号が変わる年。昨年は「平成最後の」というフレーズをよく耳にしましたが、今年はどんなフレーズが飛び交うのでしょうか。そんな年号が新しくなる年に年男・年女を迎えるみなさんに今年の抱負を伺ってみました。

質問内容

①2019年にチャレンジしたいことや目標・決意を教えてください。

②栄村に暮らして「よかったなぁ」と思うことはなんですか。

③あなたのモットーや座右の銘、日ごろ心がけていることはなんですか。

平成19年生まれ

▼南雲心結（みゆう）さん（月岡・しちいむ）

①スキーで、スキー場のどのコースでも板をそろえて滑れるようになりたいです。あと、フットサルで先ぱいのように上手にドリブルができるようになりたいです。

②自然が豊かで、川で遊べること。雪が降ってみんなと雪あそびやスキーができること。

③みんなにあいさつをして、明るく元気に過ごす。

▼福原弥夢（ひろむ）さん（小赤沢・出口屋）

①卓球で今より上手になる。

②みんな笑顔であいさつをしてくれるところ

③どんな人にも自分からあいさつをする。

平成7年生まれ

▼廣瀬果菜子さん（森・屋根屋）

①いろいろな新しいことに挑戦したい

②自然が豊かなところ。人がみんなやさしいところ。

③「心機一転」

▼斎藤稀洋（きひろ）さん（切欠・角右ヱ門）

①健康第一、病気とケガの無い一年にしたい。

②友達、家族がいること

③楽しまなきゃ意味がない。大事なのは今。

昭和58年生まれ

▼川音枝里子さん（屋敷）

①毎日を丁寧に見つめ、味わっていきたいなと思います。

②みなさんとても優しくて温かい。すばらしい温泉が近くにある。自然が美しい。

③健康が一番！

▼吉田理史（よしふみ）さん（小滝・浦沢）

①新設の「SATO YAMA そだち」を通じて障害者支援、地域活性につながることをしていきたい。移住5年、より栄村ならではの暮らしを追求したい。

②人のあたたかさ、自然の豊かさを実感できるところ。

③適度な筋トレ

昭和46年生まれ

▼廣瀬佐代子さん（青倉・お向）

①学童の指導員を続けながら、仕事もみつけたい。

②実家とあまり変わらないが、自然の中に居るのはやっぱりいいなぁと思う。人とのつながり。学童の指導員をやらせていただいて、たくさんの子どもたちとふれあえること。

▼福原清二さん（小赤沢・ごえんどこ）

①息子が3人いるが、長男、次男が4月から就職するので応援したい。

②同じ秋山から嫁をもらって、秋山で仲良く暮らしていること。村民みんなの気さくな人柄、温かさ。

③仕事がら、安全第一ですね。

昭和34年生まれ

▼森川理枝子さん（雪坪・もりぞう）

①孫と一緒に遊びたいので、体力をつける

②四季の移り変わりと共に生きていけること。そして何より人情あふれる村です。

③神様は、その人に乗り越えられない試練は与えない。

▼上倉良夫さん（平滝・居酒屋野の海）

①時間があったら知らないところへ飲み旅に出かけてみたい。

②人と人とのつながりがいい。仲間と飲む酒サイコー

③別に心がけていることはないが、毎日おいしく酒を飲めるように体に気をつけること

昭和22年生まれ

▼月岡登美枝さん（白鳥・東田）

①健康であること、時間があるときはウォーキングへ出ること。

②自然の中で生きてきてよかったなぁと思う。

③子どもたちをはじめ、みんなの力を借りながら元気で過ごしたい。

▼阿部　悟さん（大久保・とうふや）

①自然な気持ちで過ごせればと思う。

②今、健康でいられるのは栄村で生まれ育ったからだと、いろんな意味で感じている。

③体を動かしている時が楽しい。楽しく仕事をができるように心がけている。

昭和10年生まれ

▼齋藤春子さん（長瀬・久田里）

①健康に気をつけながら、家庭菜園でおいしい野菜作りをしたいと思います。

②春夏秋冬の変化に富んだ山懐に抱かれた、暮らす人々のほっこり人情に囲まれて幸せです。

③一人ひとり世界に一つだけの花。命を大切にしたいと思います。

▼関澤榮市さん（笹原・かみ）

①脳軟化症にならないように、「のう、何かしよう！」で生きたい

②時に厳しくもあるが、日々変わらず包んでくれる自然と人々がいること

③温泉通いを忘れない

大正12年生まれ

▼髙橋ふささん（青倉・北のあたしゃ）

①具合を悪くしないように、夫婦二人で一日一日を暮らしていきたい。

②生まれた土地で暮らせることが幸せ。

③転んでけがをしないように気をつけたい。戦争反対！

▼廣瀬義榮さん（森・信濃屋）

①暖かになったら外気にふれて、一日おきでもよいので歩行運動をやりたい。

②一番助かるし、又うれしいことは、冬期間の屋根の除雪や道路の道ふみをやっていただけること。感謝・多謝です。

③Health first（ヘルス ファースト）です。

あーそんなことがあったんか　～ど先生の栄村昔語り～　其の三十

『鮭獲りの権利を売る』（四）

地域史料保全有志の会
鈴木 努（通称：ど先生）
イラスト作成：佐藤洋平

年が改まりました。今年もよろしくお願いします。明けて早々ですが、今年は五月に改元が予定されていますね。日本史の教科書には沢山の年号が出てきます。その回数だけ改元があり、年号が替わってきました。江戸時代までと明治時代以後では元号の制度が全然違いますが、改元とはどういうことか、歴史的な出来事としてみておくのもよいと思います。さて、正月ですので今回は少し脇道に入り、鮭と正月の話をしましょう。

正月を迎えることを「年取り」ともいいます。これは「数え年」が一般的だった時代、大晦日または節分を越すごとに一つ年齢を重ねるということに因むものといわれます。村内の長瀬では、大晦日の昼か夕方頃からトシトリを行い、トシトリの膳を食べている時は年を取っている時なので、よその人に年を取られてはいけないというので戸口に鍵をかけておくという民俗があるそうです（『栄村東部谷の民俗』、一九九二年）。この年取りの御膳に「年取り魚」と呼ばれる魚が付きます。全国的には鮭・鱒・鱈・鰤・鰯・鰈など地域ごとにさまざまな種類の年取り魚がありますが、一般に西日本では塩鰤、東日本では塩鮭が使われます。そして長野県は年取り魚の東西の境界線にあり、よく知られているように、松本や南信は鰤、北信は鮭が使われます。もっとも、トシトリには歳神や小正月のドウロクジン、ホトケサマへの供物をいうこともあり（『栄村の民俗 第一集』、一九七二年）、神棚に上げる魚を年取り魚と呼ぶこともあるそうです。

年取り魚がどんな理由でお供えされるのか。この点については、高価な魚は縁起物で、正月のハレの日の祝いに相応しいと考えられたから、という説があります。鮭は「盛ん」に通じ、鰤は出世魚なので、また大きいものを食べると福が来るとの考えから鮭や鰤の大きくて整った姿が好まれ、正月の年取り魚にこの二種がよく使われるようになった、と説明されています。年取り魚がいつ頃始まったかはよくわかりません。ただ全国的に様々な種類の魚が用いられ、また初鰹のような時期と魚種への拘りは薄いようですので、まず正月を特別な祝い事とする考えがあり、おそらく江戸時代、魚の流通量が増えるなかで年取り魚が登場したように思われます。加えて、今より食糧事情が悪く、また倹約の規制が厳しい江戸時代、年取り魚は堂々とできる贅沢だったのでしょう。前述の『栄村東部谷の民俗』に栄村での年取り魚のことを探ってみますと、鮭が多いが鱒を使うこともあり、必ず鮭と決まっているわけではないようでした。また生鮭と煮物を取り上げ婆さんに贈り、お年玉を貰っていたそうです。

ところで、栄村域の千曲川流域でも鮭漁が行なわれていました。村で獲れた鮭が正月の年取り魚になって村の内で消費されていると面白いのですが、鮭漁と鮭にまつわる食や行事の民俗との結びつきは今のところ見えず、史料でも確認できていません。民俗誌でも正月の魚は買うものとありますし、鮭の加工に関する民具や民俗はまだ情報がない状態です。これは、栄村では鮭を獲って、それからどうしていたか、という課題につながります。昭和十一年（一九三六）に西大滝ダムが完成して以後、長野県の千曲川沿いでは鮭漁がほぼ壊滅しているので、栄村には鮭にまつわる失われた民俗があるのかもしれません。また、富山から延びるブリ街道から山筋ひとつ東にある千曲川沿いの町や村では、新潟から塩鮭を買い入れていたと思われます。江戸時代末期、冬季のブリ街道を信州目指して運ばれた鰤はざっと見積もって百万本くらいでは、という説があり、北国街道とならんで千曲川沿いの谷街道では、冬季に相当な数の塩鮭が運ばれていったと考えられます。これも今後流通関係の史料を見るときの視点の一つになるでしょう。

正月号に寄せて、少し脇道に逸れてみました。次回はまた古文書の話に戻ります。

図書室だより

栄村読書旬間の取組み

北信保育園では…

おはなしの会（栄村芸文協団体所属）のみなさんによる「よみきかせ会」を実施しました。未満児クラスと年少から年長児までの２回に分けて実施しました。

また、保育園移動図書の貸出冊数を２冊に増やし、良書と言われる幼児期に出会ってほしい絵本を抜粋して子どもたちへ届けました。想像力豊かなこの時期にたくさんのお話に出会い、親子のふれあいを深めてほしいと願っています。

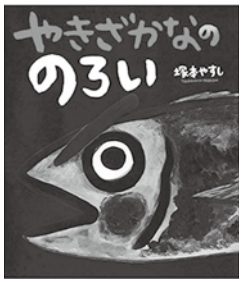
栄小学校では…

先生による読み聞かせ会や本の紹介ももちろん行いますが、なかなか斬新な取り組みをしています。それは、絵本に出てくる料理を学校給食のメニューに取り入れる「おはなし給食」というものです。全国的に広まっている活動ではあるようですが、メニューの紹介と併せて、絵本も紹介しています。絵本の料理を実際に味わうことで、子どもたちの絵本への関心も高まるのではないでしょうか。

自分で作ったおにぎりをほおばる児童

実際に出された給食メニュー

「やきざかなののろい」塚本やすし（ポプラ社）



さんまのおろしポン酢

「しあわせおにぎり」つちだよしはる作（あかね書房）

自分でにぎるセルフおにぎりメニュー

村内移動図書巡回中

年が明けてもまだまだ移動図書車が皆さんの集落を巡回します。詳しい時間は、11月に配付した巡回表をご覧いただくか、栄村公民館図書室（☎87-3118）までお問合せください。ご希望の本をお持ちすることもできますので、お気軽にご利用ください。

●東部地区
1/9、1/23、2/6、2/20、3/6、3/19

●北信地区
1/10、1/24、2/7、2/21、3/7、3/20

●秋山地区
1/11、1/25、2/8、2/22、3/8、3/22

おおきくな〜れ

おてつだい大好き!!

陽太（はるた）くん（5歳）

米とぎ、ピーラーでの皮むき、タオルたたみはお任せあれ！

髙橋陽子さん宅（切明）

年輪 155

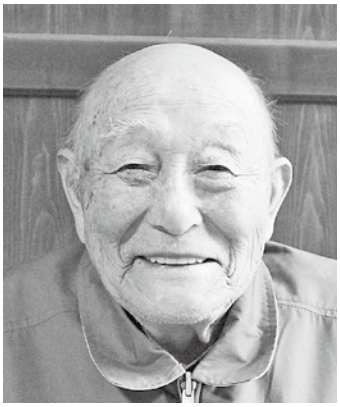
年輪は風雪に耐えて積み重ねた歴史であり銘木の条件でもある。激動の明治・大正・昭和そして平成を生きてきざみ込まれた人生の年輪は磨かれた銘木のごとく輝く。

①人生を振り返ってみて…　②今思うこと・言いたいこと

藤木みちさん（85歳）極野

①極野から極野に嫁に来た。学校を卒業してからは愛知へ出稼ぎに行き、林業や土木仕事をした。冬は野沢の旅館へ出稼ぎに行っていたが、今でも野沢の友達が年に2回遊びに来てくれる。現在は夫のねこつぐらを支えるため、わらづくりに精を出している。

②こんなに長生きするとは思わなかった。元気なうちはがんばって生きたい。床に長くつかないようにしていたい。これからもできる範囲で畑を作り、わらづくりを続けていきたい。



藤木金寿さん（90歳）極野

①卒業をしてから発電所の水路員を務め、冬は炭焼きをしてお金を作った。赤津組に勤めるようになり、冬は除雪をした。除雪を始めた時はまだ砂利道で、除雪車のタイヤも金属だったためむずかしかった。昭和61年からねこつぐらの生産が始まり、青倉まで習いに行った。現在でもねこつぐらを作っている。

②世の中は裕福になった。子どもの時はお腹がすいて仕方なかった。キュウリをもいだら怒られると、そのままかじり、ニシン売りに気が付かれないように、天秤かごから抜いて食べたこともある。ねこつぐらを絶やしたくない。

斎藤安五郎さん（85歳）坪野

①中学校を卒業してから、イワナ釣りや炭焼き、葉タバコ、加工トマト、冬には藁仕事をしながら生活した。土方をして誰にもできない事をやってみたと思い、3年間通年雇用。その後は地方事務所林務課の仕事を務めた。

②土方の仕事をやってきたことが幸せだった。その場所に行けば今でもその時の事を思い出す。楽しい仕事だった。苦労もあったが楽しみだった。震災関連死で妻に先立たれて一人暮らしも8年目。なんでもできるので不自由はない。健康はありがたいと思う。

村民広場

小林裕也さん（16歳）白鳥

高校に入学してからもうすぐ１年が経とうとしています。入学当初は友達ができるか心配だったり学習面でもついていけるかなど心配だらけでしたが、今は友達もたくさんでき、楽しく学校生活を送っています。

もうすぐ２年生になり、進路の方も決めていかなければいけないので、これからもっと学習面で頑張りながら、残りの高校生活を楽しんでいきたいと思います。

山田眞士（まきし）さん（16歳）森

僕は飯山高校に入学し、高校でも吹奏楽を続けています。高校ではトランペットからホルンに変わり、入学当初は高い音を出すのにも一苦労でした。来年度は後輩ができるので、自分の技術力を高めながらこれからもがんばります。

ピアノも小学校６年生から続けています。将来は音楽関係の仕事に就きたいと考えています。まだ具体的な事は決めていませんが、高校生活の中で決めていきたいです。

編集後記

新年おめでとうございます。それぞれのご家庭でお節料理を堪能されたことと思います。おせち料理と言えば、お正月に家事を少なくするために日持ちのするよう先人が工夫した料理としても知られていますね。

しかし、今私たちの身の回りの食品は、いつまでたっても変色もしなければ腐りもしないものが多く、そのことを不思議にも思わないで過ごしています。食べものは作った瞬間からどんどん悪くなるのが当たり前なのです。どんな所でどんな風に作られているのかに思いを馳せることも大事かな、と平成最後の正月に感じました。㊖

今月の一句 ～栄村俳句会～

老い忘れ出しゃばりすぎる師走かな　山田政治

南天を荒縄きりりと冬囲い　山田せき

里いもや箸からにげる夕の膳　福原勇一

千曲川水尾ひく鴨の群いくつ　斉藤はる子

塩鮭の二匹北より届きけり　馬場澤子

千曲川橋ごと包む冬の虹　関谷貞子

小春日にほっこり包まる野辺の村　柳　静江

人恋しそぼ降る雨の枯木立　杉浦恵子

今月の栄っ子

Vol.22 ～立会演説会～

11月30日に栄中学校で、来年度の生徒会長と副会長を選ぶ選挙の「立会演説会」が行われ、各１名ずつが立候補しました。

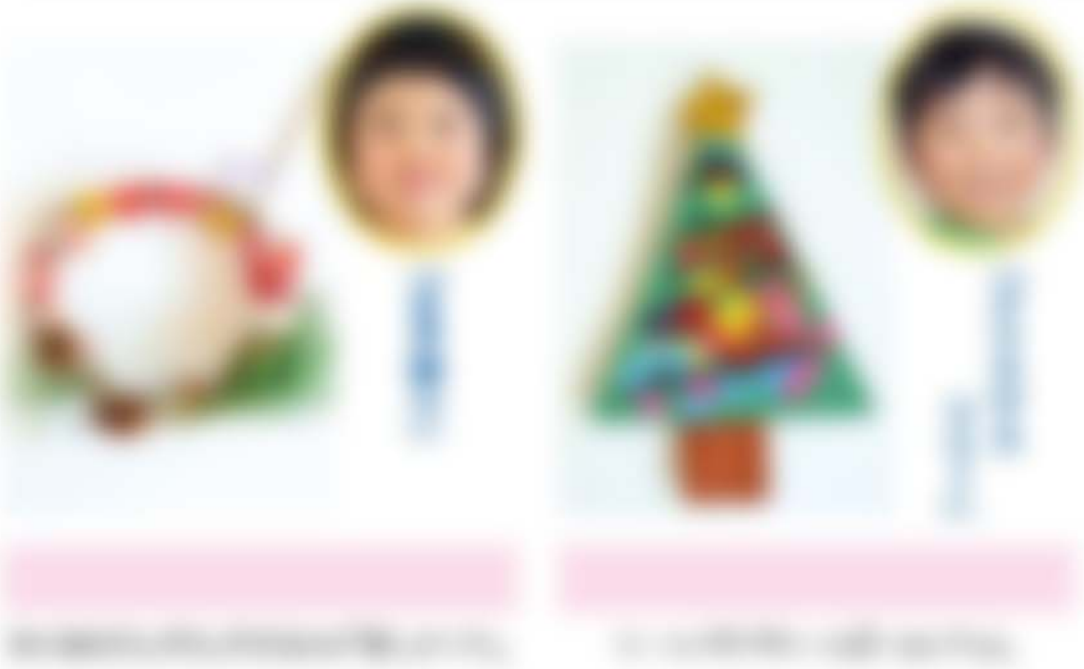
生徒会長に立候補したのは保坂花（ほさかはな）さん、副会長には相澤大夢（あいざわひろむ）さんです。

まず、会長候補者の推薦人である関澤麗花（せきざわれいか）さんから推薦演説があり、続いて保坂候補者の演説でしたが、栄中学校をより良い学校にしていくための大切な立会演説だけあって、「学校生活を楽しいと思える生徒会にする」と自信に満ちたすばらしい演説でした。引き続き緊張感漂う中、副会長候補者の推薦人である岡希星（おかきらら）さんが推薦演説を行い、最後に相澤候補者の演説がありましたが、皆さん堂々と自分たちの思いを発表し、有権者も熱心に聞いていました。

立会演説の後は、実際の選挙のときに役場で使用している「投票箱」と「記載台」を使い投票を行いましたが、本物の投票箱と記載台を前に雰囲気と気分もグッと盛り上がったようです。生徒会を引退する３年生は頼もしい後輩に生徒会を託し、２年生と１年生は今まで生徒会を牽引してくれた先輩に感謝し、栄中学校を盛り立てていってくれることでしょう。（取材：特命対策課）

▲立会演説会の様子

▲選挙で使用している投票箱。緊張感がありました。



広報ギャラリー 北信保育園

●広報さかえ　平成31年１月１日発行　●編集　総務課　情報防災係
●〒389-2792　長野県下水内郡栄村大字北信3433　TEL 0269-87-3111　FAX 0269-87-3083
●ホームページ　http://www.vill.sakae.nagano.jp　●印刷　㈱滝沢印刷